年　頭　所　感

会長　工博　田　中　茂　美

昭和 35 年の新春を迎え会員諸氏の御健勝を祝すると共に，本学会の発展を諸氏と共に喜ぶ次第である。

顧みて昨年の土木界の情勢を思ふに，実に多端な一年であつた。数度にわたる台風の襲来，特に9月末の伊勢湾台風は意外に甚大な被害を与え，我々土木技術者にとつては大いなる反省と共に将来の対策検討の好機を与えられた。又交通界にあつては名神高速道路や東海道新幹線鉄道の着工があり，その他万般の土木事業も活況を呈したのであつた。従つて我々土木技術者の仕事も従来になく活発であつたし引続いて今年も多忙を極めるであろうと想像される。

この様ないわゆる建設ブームは我々にとつて誠に喜ばしいことではあるが，反面技術者として警戒しなければならない点が考えられる。それは拙速主義に堕しはしないかという懸念である。

私は最近ソ連のプレストレスト　コンクリート事業に関する情勢を知る機会を得たが，それによるとソ連では現在モスコー河に道路鉄道併用の巨大な PC タイド　アーチ橋が架設中であるが，その設計施工はソ連に於ける最高のプレストレスト　コンクリート技術者の総智を集めたものであつて，この設計の決定までには鋼橋を含み 12 種の比較設計を行つたという。又モスコー，レニングラード等の国立設計局では数百人の技術者が常に2年先の工事について設計を練つていると称している。土木工事は一般に公共的事業に類するものが多く，その重大性は他の技術部門に比して較べものにならないし，又常に進歩しつゝある技術を取り入れることが技術者の使命であることを思うと，ソ連のこの様なやり方は当然のことであつて，兎もすればこれをゆがめられ勝ちな我国の現状にこそ問題が存する。

最近世をあげて科学技術の振興をとなえるが，こと土木技術に関する限り技術者自身の問題の他に政治的財政的の力が大きな影響を持つている。即ち土木事業の計画から完成に至るまでに，我々技術者の解決すべき問題は複雑多岐にわたつていて，非常に困難な性質のものであることを痛感させられる。又土木技術は工学としての範囲が広く，数種の専門部門に分かれているが，併しその総合によつて始めて事業の完全な遂行を期し得るものであることも，その一つの特徴と考えられる。

土木学会はその本来の目的である純粋の科学技術の研究に力を注がねばならないことは勿論であるが，一面叙上の複雑な事情の認識の上に立つて，会員諸氏の活動の助長のために意を用いなければならないと思う。

その意味に於て，学会では今後の活動を従来よりも拡大し，委員会活動を通じて制度上の問題や，土木事業に関する総合調整などの問題をも積極的に取りあげることになつた。創立以来 50 年になんなんとする学会が，全会員諸氏の活動のためにより良く奉仕できるために，会員御自身からの全幅の御協力をお願いしてやまない。いさゝか所感の一端を述べ新年の御挨拶とする次第である（原文のまま掲載）。

【興和コンクリートＫＫ社長，興和化成ＫＫ社長】